

「教会と国家」委員会より、平和のための祈り

主の御名を讃美いたします。「教会と国家」委員会では、毎年8月15日の敗戦の日を覚えて平和祈禱会を行い(今年は8月10日)、共に平和のために祈る時を持っています。つきましては、参加がかなわない方々のために祈禱課題をお分ちしたいと思っておりますので、ぜひ、この平和のための祈りを8月の礼拝や祈禱会などでお使いくださり、平和の君である主に共に祈りましょう。

「教会と国家」委員会委員長 柴田智悦

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもとよばれるからです。」
(マタイの福音書5:9)

祈 禱 課 題

1. 私たちの教団が、過去に犯した偶像礼拝と侵略戦争への加担、という罪を心に刻み、二度とその罪を繰り返すことなく、また、私たちの国が侵略し、蹂躪し、偶像礼拝を強要した国々の人々に対して、心からの和解を求めていくことができるように。
2. 福音派キリスト教会として、伝道と社会的政治的参与をキリスト者のつとめとし、この世にあって積極的に社会的責任を果たして行くことができるように。
3. この国の為政者が、公義と正義に基づく政治を行うことができるように。主権在民、基本的人権の尊重、平和主義の原則を後退させる、憲法改正発議がなされないように。また、仮に憲法が改変されようとも、私たちが堅く信仰に立ち続けることを今から決意していけるように。
4. 今年行われている天皇の「代替わり儀式」や、新しくなった元号に関して、キリスト者としてふさわしい態度を表明していけるように。
5. 「日の丸・君が代」強制問題で戦っている方々の信仰の自由が守られるように。また、この国に住む在日の方々や外国籍の方々を、私たちの隣人として自分自身のように愛することができるように。そして、日本国土の0.6%にすぎないに沖縄県に、在日米軍専用施設の約70%が集中し、なお基地建設が強行されている事実を私たち自身の問題として捉えることができるように。
6. 8月6日広島原爆の日、8月9日長崎原爆の日を覚えて。そして、福島第一原発事故の被災者の方々のために。2017年7月7日に国連会議で採択された核兵器禁止条約に、日本も参加することができるように。
7. 私たちが、国家に対する「見張り人」として立てられ、平和を作り出す者とされていることを自覚し、キリストの愛と義に基づいて神の国の拡大のために、私たちに与えられた宣教の使命を果たして行くことができるように。

平和のための祈り

平和の主なる神よ。

あなたは救い主イエス・キリストを私たちのもとにお遣わしになり、
私たちを隔てる敵意の壁を取り壊してくださいました。
争いの絶えないこの地上にまことの平和をもたらし、
国と国、民族と民族を争わせる憎しみ、傲慢、怒りを取り除いてください。
戦争のあるところに終わりをもち、まことの平和を打ち立ててください。

愛のみなもとなる神よ。

隣人を愛することなくして、あなたを愛することはできません。
私たちのうちから憎しみと偏見を取り除いてください。
十字架によって示された愛の心で満たし、
私たちが憎み、脅かしているものたちと和解させ、
あなたの平和のうちに、ともに生きることができるようになってください。

国々の主権者なる力の神よ。

この国の為政者たち、政府と議会、法を司る人々、
私たちの間にあって、権威を委ねられている人々を導いてください。
彼らがあなたを恐れ、あなたの知恵に導かれ、
へりくだってこの国を正しい道へと導くことができますように。
再び偶像礼拝と戦争をする国に向かわせることがありませんように。
弱い立場にある人々に配慮し、正しい政治を行うことができますように。
正義と公正、平和と福祉のためによく働くことができますようにしてください。

永遠の支配者、地にある全てのものの希望なる神よ。

世界の国々に立てられている指導者たちにヴィジョンを与え、
彼らが正義と真実をもって様々な壁を打ち壊し、
平和な世界を築き上げることができますように。
互いの政治的な対立や経済的な利害を超えて、
たがいに助け合い、敬い合うことができますように。

主の祈り

天にまします我らの父よ

ねがわくは、御名をあがめさせたまえ 御国を来らせたまえ

みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を 我らがゆるすごとく 我らの罪をもゆるしたまえ

我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン